

投資者の皆様へ

2018年12月20日



商号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社の中小型株式ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2018年12月20日に日経平均株価が年初来安値を更新するなど、国内の株式市場が直近で大きく下落していることを受けて、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受け弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が下記の通り下落いたしました。つきましては、株式市場の下落要因と今後の見通しについての当社の見方と共に、助言ファンドに関するエンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等についてお知らせいたします。

1. 基準価額及び下落率(12月20日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	14,304	▲621	▲4.2
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	18,006	▲774	▲4.1
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(愛称:jnext)	28,780	▲1,178	▲3.9
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型) /愛称:jnext II	14,465	▲594	▲3.9
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)	33,937	▲1,265	▲3.6
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型) /愛称:jrevive II	11,767	▲440	▲3.6
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ<DC年金>/ 愛称:jrevive<DC年金>	12,628	▲472	▲3.6

ご参考: 株価指数の騰落率等

株価指数	取引終了値 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
日経平均株価	20,392.58	▲595.34	▲2.8
東証マザーズ指数	838.14	▲47.80	▲5.4

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

前ページ掲載のファンドに関する要因及び今後の見通しは以下の通りです。

国内株式市場は今週も引き続き軟調に推移し、本日の日経平均株価は一時、年初来安値となる 20,282.93 円(取引時間中の安値)まで下落しました。直近で発表された米国の経済指標が良くなかったことに加えて、日本時間 12 月 20 日の朝方まで行われていた米連邦公開市場委員会(FOMC)の定例会合で、短期金利の指標であるフェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を 2.25-2.50%のレンジへ 0.25%引き上げるとともに、2019 年の利上げ回数については、年 3 回から年 2 回に減らす見通しを示しました。今回の FOMC では、2019 年の米経済成長率見通しが前年比+2.5%から同+2.3%へ引き下げられました。利上げ見通しは事前の市場予想通りであったものの、景気の先行き不安が根強いことから、米国やアジア市場では、株式などのリスク資産の持ち高を調整するための売りが続きました。

また、本日の東証マザーズ指数は前営業日比▲47.80 ポイント安(同▲5.40%)の 838.14 ポイントまで下落し、小型株はより軟調な推移となっています。資金の逃避が進行したことにより、株式市場が下落する際には、大型株に比べて小型株のほうがより軟調に推移する傾向にあります。

今後の株式市場の見通しについては、实体经济は引き続き堅調である一方、米通商政策や英国の欧州連合(EU)離脱問題等の先行き不透明感、欧州や中国をはじめとする世界景気の減速懸念など、主に外部環境の影響により神経質な展開が続くと予想されます。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

3.エンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等

今週に入って国内株式市場は大きく調整しています。20日には前日のFOMCによる米国利上げと経済見通しの発表から景気減速懸念が広がり米国株式市場が大幅下落、その流れを受けてわが国でも一段と株価調整が進みました。背景には前日までの利上げ見送り期待の反動や、クリスマス休暇を控えた海外投機勢の仕掛け売りといった見方もあり、足元では過剰反応ともいえる展開が続いています。また、わが国の中小型株市場は前年に大きく上昇した反動による利益確定売りの圧力が続いていることも、ファンドの基準価額に影響を与えています。

しかし、一方で企業を取り巻く経済環境は比較的安定しています。失業率の低下、倒産件数の減少、活発な設備投資や安定した個人消費が経済全体を支えています。実際、ファンドの組入企業についても、全般的には概ね想定通りに推移していることを確認しているため、市場が落ち着きを取り戻せば過小評価は解消に向かうものと考えています。

今後も世界的には様々な不安定要素が残っていますが、わが国全体でみれば金融情勢も安定しており、景気が急減速する可能性は低いと考えられます。また、2019年には消費増税が予定されていますが、景気への悪影響を緩和すべく様々な施策が打たれる見通しです。働き方改革の推進やキャッシュレス社会の実現、インフラ再構築への投資拡大など、新たな動きも出てきた点は株式市場には明るい兆候といえます。最近の企業との個別直接面談調査の中でも、経営者の方々の事業環境の見通しに対する見方は総じて明るく、景気の急速な減速を懸念する声は極めて少ないことを実感しています。

したがって、このような厳しい時期こそ冷静に企業分析と潜在的な成長力の見極めることが中長期的に重要と考え、組入・組入候補各社とは徹底した調査活動を実施しています。過去にも何度も厳しい局面を経験してまいりましたが、こうした地道な調査助言活動こそが、中長期的なパフォーマンスにつながってきていますので、受益者の皆様におかれましても今一層のご信頼を頂ければ幸いです。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬※ 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。